



小学校英語の効果的で持続可能な授業づくり

教育学部児童教育学科 講師 瀧本 哲弘

キーワード

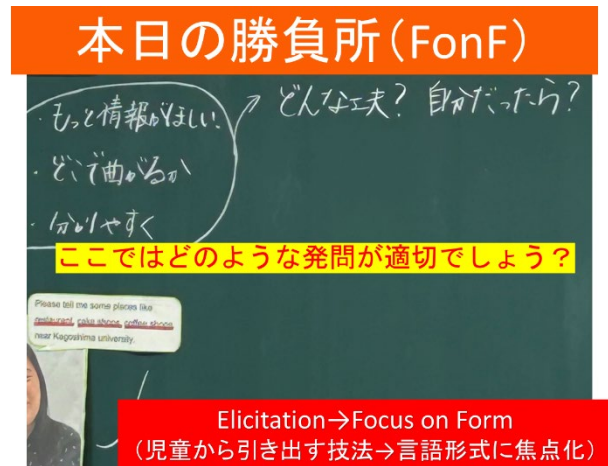
授業構成、単元構成、TBLT、Focus on Form、改訂型 PPP



1 研究内容

英語教育学の授業研究で主流となっている 2 つの授業構成をベースとして、どのように 1 つの「授業」(小学校の場合は 45 分間)や、授業テーマごとの塊である「単元」を組み立てていけばよいかを研究しています。1 つ目は、その日行う英語を使った課題活動(Task)を行うための準備(Pre-task)、課題活動の実施(Main-task)、活動後の振り返りや修正・課題の再実施(Post-task)という流れの TBLT(Task Based Language Teaching)という構成です。2 つ目は、その日習う表現を提示し(Presentation)、その表現を練習し(Practice)、練習した表現を使った言語活動をする(Production)という流れの PPP という構成です。これらの授業の各フェーズで、どのような活動が児童にとって効果的で、教師にとって持続可能かということを研究しています。加えて、英語コミュニケーションに重点を置く中で、児童に英語の形式にも自然と着目させる Focus on Form という指導技術の具現化についても研究しています。

改訂型PPP	TBLT
①Presentation 日本語による明示的演繹的文法説明or英語による帰納的指導	①Pre-task phase パフォーマンスのモデル、主要表現の提示、既有知識のスキーマ化、パフォーマンスの準備
②Practice 機械的練習+コンテキストの中での練習、形式と意味に焦点を当てた練習	②Main-task phase 時間制限、コンテキストの支援、明示的指導、サプライズな追加事項の説明
③Production 目標文法を使う活動+文法項目を指定しない自由度の高い活動(自由度の高いタスクも含む)	③Post-task phase タスクの再チャレンジ、報告、課題となった言語形式の練習



2 連携可能性のある研究分野, 又は, これまでの連携実績

連携可能性のある研究分野

- ・小中学校における外国語活動、外国語科の授業改善の支援
- ・外国語活動、外国語科についての教員研修
- ・ICT 含む教材開発

これまでの連携実績

- ・九州地区英語教育研究団体連合会(九英連)主催九州地区大会指導助言者
- ・鹿児島県教育委員会主催免許法認定講習講師
- ・小学校外国語科検定教科書『CROWN Jr.』(三省堂)編集委員 他